

練馬区立豊溪小学校校舎等改築説明会 要旨

- 1 日 時 令和6年7月11日(木)午後6時30分～午後7時30分
- 2 場 所 練馬区立豊溪小学校 体育館
- 3 出席者

練馬区	学校施設課	1名
	施設整備第二課	2名
豊溪小学校	校長	1名
設計会社	株式会社奥野設計	2名
- 4 参加者 77名(在校児童の保護者、入学予定者の保護者、近隣にお住まいの方等)
- 5 配付資料
 - ・次第
 - ・【資料1】練馬区立豊溪小学校校舎等改築概要について
 - ・【資料2】建替計画・工事工程表
 - ・【資料3】新校舎 平面計画
 - ・【資料4】仮設校舎 平面計画
 - ・【資料5】鳥瞰イメージ
- 6 内容
 - (1) 開会のあいさつ
 - (2) 出席者の紹介
 - (3) 改築概要について(事務局より資料1をもとに説明)
 - (4) 設計内容について(設計会社より資料2～5をもとに説明)
 - (5) 質疑応答
 - (6) 閉会

7 質疑応答の内容

問1（入学予定保護者）

- ・土支田児童館に学童クラブがあるが、仮校舎に学童クラブが引っ越しするのか。
- ・工事工程表に令和9年度の外部プール利用とあるが、どこのプールを利用する想定か。
- ・運動会等、学校行事への影響はあるか。

答1（学校施設課長）

- ・学童クラブ設置については、正式には「練馬区立学童クラブ条例および練馬区ねりっこクラブ条例」の改正により決定します。条例改正は、令和7年第2回定例会を予定しています。そのため、現状では具体的に決まっていません。令和8年度開設に向けて準備を進めていますが、仮設校舎引っ越しの段階では土支田児童館学童クラブを廃止することは想定していません。（説明会后、子育て支援課の回答を加筆しています。）
- ・外部プールの場所等は、まだ決定していません。決定次第、学校を通してお知らせします。
- ・工事期間中、仮設校舎が建つ関係で校庭が狭くなるため、運動会の行事については、近隣の学校を利用して実施することになると想定しています。現在、学校と教育委員会にて調整中です。決定次第、お知らせします。

問2（在校生保護者）

- ・旧校舎解体前に撮影会など、イベントの予定はあるか。
- ・旧校舎解体後の廃材、かけらなどをもらえるか
- ・正門前の大石の扱いはどうなるか。

答2（学校施設課長）

- ・解体前の撮影会等の催しについては、開催ができるか学校と相談させていただきます。工事との関係もありますが、検討させていただきます。
- ・旧校舎の廃材について、記念品となるものを皆様にお配りできるものが用意できるか、今後検討させていただきます。
- ・正門前の大石については、豊溪小のシンボルとして認識しています。新校舎になった後にも適切な場所に配置できるように検討していきます。

問3（近隣住民）

- ・工事を行う曜日、時間が決まっていたら教えてほしい。
- ・喫煙所の場所をどうするか、近隣の住居にかからない配慮をしてほしい。

答3（施設整備第二課長）

- ・改築の工事業者が決まりましたら、詳しい工事説明会を開催する予定です。一般的には8時から18時、その前後に片付けを行っています。
- ・喫煙所は、指定場所を決めて、皆様にご迷惑をおかけしない形で管理します。

問4（近隣住民）

- ・アスベストの調査・処理などがどうなっているのか。

答4（施設整備第二課長）

- ・設計の中で、既存建物のアスベスト調査をしています。アスベストの撤去は、関係法令に則り、適切に養生をした上で作業を進めて参ります。アスベストの撤去については、校舎の解体時に行います。施工業者が決まりましたら、工事説明会で詳しい手順など説明を行います。

問5（近隣住民）

- ・車両の通行止めなどは、事前に教えてもらえるのか。

答5（施設整備第二課）

- ・一般的には、工事車両の搬出入は、児童の通学時間とはずらして行っています。また、搬入の動線は、周辺の道路状況を確認し決定していきます。歩行者・児童の安全のために、交通誘導員を立てて適切に誘導していきます。工程看板を掲示しお知らせをした上で、調整をしていきます。

問6（近隣住民）資料3参照

- ・道路拡幅について、現況道路より何mくらい拡幅を行うのか。

答6（施設整備第二課長）（設計者）

- ・現況は約6mの道路になっており、3mのセットバックをします。道路上の空間としては9mになります。また、約2mを歩道状空地として歩行者が安全に歩行できるように整備する予定です。
なお、整備としては車が通行する部分は約6m、歩行者が通行できるのは約5mの歩道ができます。

問7（入学予定者保護者）

- ・このあたりの地域は、児童数が増えていて学童クラブに入りづらいと聞いている。新校舎へ学童クラブ室を設置することで、受け入れ人数は増えるのか。

答7（学校施設課長）

- ・新校舎、仮設校舎とも学童クラブ室の整備を見込んでいます。正式には、来年度の条例改正により決まります。定員が何名増えるというのは、現段階では未定です。令和8年度に向けての学童クラブ入会募集時には、お知らせをします。（説明会后、子育て支援課の回答を加筆しています。）

問8（在校生保護者）

- ・工事工程表を見ると校庭が狭くなる時期がある。校庭遊びや体育の授業はどうなるか。
- ・仮校舎に給食室が整備されるとなっているが、常に自校式で調理するのか。また、お弁当を持ってこないといけない時期はあるのか。

答8（学校施設課）

- ・学校と調整をさせていただき、体育の授業については、仮グラウンドや体育館での実施を考えています。体育館は、工事期間中も常に使えるようになっています。
- ・給食は、自校調理で提供します。

問9（在校生保護者）

- ・学童クラブの受け入れ人数について。上2人の子が2年生、3年生が入室を希望したが、入室できなかった。3年生までの子供や保護者が、安心して放課後を過ごせないのは深刻な事態だと思う。仮校舎の時から全員が学童クラブに入室できるように要望したい。

答9（学校施設課長）

- ・本日は学童クラブを所管する部署の担当者が来ていないが、いただいたご要望は所管の部署にお伝えします。（説明会后、所管部署の子育て支援課にお伝えしました。）

問 10（在校生保護者）

- ・工事車両の出入りについて、北門から工事車両の可能性があると聞いたが、児童の登校の時間と重なる可能性があるのか。通学路を変える必要があるのか、現状の可能性を教えてほしい。
- ・（資料2）現状の校庭は5,700 m²あるが、改築後は4,000 m²になる。校庭が狭くなっている理由は何か。
- ・仮校舎以降、ひろば室の扱いはどうなるか。
- ・下石神井小学校の改築工事の際に、学年ごとに引っ越しをしたと聞いた、同様のことがあるのか。
- ・今回の説明会と同様の説明会が今後もあるのか。あるとしたら大まかな時期を教えてください。

答 10（学校施設課長）

- ・改築により教室の広さを大きく、また教室数を増やすため、現在の校舎の面積よりも広くなるのが要因です。体育館についても既存体育館が660 m²、新体育館が1195 m²で約2倍になります。校庭については、トラックと直線路について、学習指導要領に定められている小学校で確保が好ましいとされているトラックと直線路は確保できています。校庭の使い方については、今後、教育委員会と学校とで調整していきます。
- ・仮設校舎の際のひろば室については、学校との協議の中で教室をお借りして事業を行っていくと想定しています。こちらについては、決定次第、お知らせをします。
- ・次回の説明会については、仮設校舎の建設に関する説明会を予定しています。時期については、今年度の秋ごろ行う予定です。その後、解体工事の説明会を予定しています。

（施設整備第二課長）

- ・スクールゾーンの規制時間は、工事車両が通らないように工夫します。児童動線と工事動線は鋼板などで区画し、安全を確保します。また、一時的に交差する場合は交通誘導員などを配置します。
- ・校舎や体育館の建替えについては、学校運営に支障のないよう配慮していきます。

問 11（在校生保護者）

- ・開放団体の校庭にある倉庫を 11 月に完全撤去と聞いている。新校舎ができた場合に、倉庫を置ける可能性があるのか教えてほしい。

答 11（施設整備第二課長）

- ・校庭整備が終わった後に、校庭を全面的に使用することができます。施設の更新の際には、学校と協議し支障のないよう整備をすすめていきます。

問 12（在校生保護者）

- ・土支田児童館学童クラブはなくなるということか。

答 12（学校施設課長）

- ・担当者がいないため詳しいことはお伝え出来ませんが、当面は土支田児童館学童クラブも残る方向で調整していると聞いています。

（説明会后、子育て支援課からの回答）

仮設校舎の段階から学校内に学童クラブを設置していくことで、受入数の拡大を図ることになっています。土支田児童館学童クラブの存続については、周辺地域の需要動向を見て判断することになります。

問 13（入学予定者保護者）

- ・仮設校舎の耐震に不安があるが、その点について教えてほしい。

答 13（学校施設課長）

- ・新しく建設する校舎と同等の耐震性能で建設を進めていきます。

問 14（在校生保護者）

- ・ステップ 2、ステップ 3 の時、校庭が 650 m²まで狭くなるが、中休みの外遊びや運動会はどのようにするのか。

答 14（学校施設課長）

- ・これまでの改築校でも時期によっては同程度の校庭の大きさに運用していることがありました。体育館は常時使用が可能な工程となっているため、体育館を利用するなど、仮校庭の使い方は学校と協議しながら、検討をすすめていきます。

行事については、仮校庭では難しいと考えています。学校の意向を聞きながら、近隣の学校を利用することも含めて、相談しながら対応を考えいきます。

問 15（在校生保護者）

- ・新宿区の病院建替えの際に食器が出土し工期が遅れた事例や、世田谷区の庁舎建費の高騰で建設が止まっていたりする。そこで、地質調査や地歴調査が済んでいるのか、財源の確保が済んでいるのか、教えてほしい。

答 15（設計者）

- ・地歴については過去の航空写真、謄本、公図を確認し、小学校を建つ前は田んぼとなっているので、地下に埋蔵物はないと考えています。

（学校施設課長）

- ・現在、物価上昇等で工事費が高騰している現状があります。工事費は設計の中で積算を行い、工事事業者は入札で決定します。区としても必要な予算を計上して、取り組んでいきます。学校改築は国庫補助もありますので、そちらも確保できるよう進めていきます。